

タクシー利用券制度の統一を

Q タクシー利用券制度については、安中地域と松井田地域で制度内容に差異がある。一市二制度解消に向けた考えは。

A 現在、令和8年度を目途に本市の条件に適した「安中型公共交通」の導入を図るため、公共交通の抜本的な見直しを行っており、そうしたことを踏まえながらタクシー利用券助成事業も検討していく。

保育所、認定こども園などをサポート

Q 就学前教育・保育施設整備事業費補助金の概要は。

A 保育所、認定こども園などの新設、修理や整備の経費や防犯対策の強化に係る整備に要する経費の一部を補助する。

医療相談アプリの導入

Q 母子保健衛生事業の賃借料は、どのような内容か。

A 体調不良時に、症状や受診のタイミングなどについて、24時間、365日専門の診療科の医師へ相談ができるよう医療相談アプリを導入するものである。妊婦から就学前までの幼児を対象とし、一世帯につき家族5人まで登録ができ、無料で使用できる。

オリーブ栽培への課題

Q 市内に広がる桑の伐根後の農地には紋羽病が20年残る。耕作放棄地対策としてのオリーブ栽培は、栽培条件が合うのは桑の伐根地であるが、紋羽病に弱い。新規事業の予算化にあたり専門家の意見は聞いたのか。

A オリーブ栽培は、周辺の農地の作付状況等を考慮した上で作付を推進していく。

申請される農業者に病害防止等の注意喚起を図る。

適切な河床整備を

Q 河川敷が非常に荒廃していて野生動物の生息域になっている。河川敷内の立木の処理や河床整備が進んでいないがどうなっているのか。

A 市が管理している河川の河床整備等については、地元区長からの要望を受け、現地確認を行った後、必要に応じて伐木や土砂の浚渫等必要な対策を実施している。

区画整理事業方針の撤回とは

Q 土地区画整理事業の委託料は、安中南地区の土地区画整理事業を白紙に戻し、「あたらしいまちづくり」を行うとしている。この「土地区画整理事業の方針を撤回する」とはどういう意味か。

A 区画整理に替わる手法で整備することにより、土地区画整理事業の都市計画決定を廃止できるので、この先、土地区画整理事業を提案することはないということ。

新駅設置に向けて

Q 新駅設置についてJRがゴーサインを出すことに対し、懸念や課題は。

A 西毛広域幹線道路と信越本線交差部周辺の商業系用途地域の指定、安中南地区土地区画整理事業に変わる新しいまちづくりの取り組み、公共交通の市内全域展開に合わせ、市内外から人が集まる魅力的な安中市となるよう新駅の必要性を目指す。

